

## 智頭急行株式会社の業務及び財務に関する資料について

鳥取県情報公開条例第38条第2項の規定により、次の資料を閲覧に供します。

〒689-1402

鳥取県八頭郡智頭町智頭2052-1

智頭急行株式会社

代表取締役社長 岡村 俊作

0858-75-6600

### 閲覧資料

- 定 款（平成27年6月3日現在）…………… 1P～3P
- 役員名簿（平成27年6月3日現在）…………… 4P
- 事業報告（平成26年度分）…………… 5P～8P
- 貸借対照表（平成26年度分）…………… 9P
- 損益計算書（平成26年度分）…………… 9P
- 株主資本等変動計算書（平成26年度分）…………… 10P

○定 款

第1章 総 則

(商号)

第1条 当社は、智頭急行株式会社と称する。

(目的)

第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

- (1) 地方鉄道業
- (2) 不動産賃貸業、不動産売買業及び不動産管理業
- (3) 旅行業
- (4) 広告業
- (5) 食堂、喫茶店の経営並びに飲食料品及び日用雑貨品の販売
- (6) 収入印紙及び郵便切手の売りさばき
- (7) 酒類及びたばこの販売
- (8) 前各号に付帯関連する一切の事業

(本店)

第3条 当社は、本店を鳥取県八頭郡智頭町に置く。

(公告)

第4条 当社の公告は、官報に掲載する。

第2章 株 式

(発行する株式の総数)

第5条 当社の発行する株式の総数は、20,000株とする。

(額面株式1株の金額)

第6条 当社の発行する額面株式の1株の金額は、50,000円とする。

(株券の種類)

第7条 当社の発行する株式は、すべて記名式とし、株式の種類は、1株券、10株券及び100株券の3種類とする。

(株式の譲渡制限)

第8条 当社の株式を譲渡する場合は、取締役会の承認を受けなければならない。

(株主の住所、氏名及び印鑑の届出)

第9条 当社の株主、株式の登録質権者及び信託財産の受託者又はその法定代理人若しくは代表者は、当社所定の書式により、住所、氏名及び印鑑を当社に届け出なければならない。これを変更したときもまた同様とする。

2 前項の届出を怠ったため生じた損害については、当社はその責めに任じない。

(株式の取扱)

第10条 当社の株式の名義書換、質権の登録、信託財産の表示、株券の再発行、その他株式の取扱いに関する手続き及びその手数料については、取締役会が定める。

(株主名簿の閉鎖及び基準日)

第11条 当社は、毎決算期の翌日からその決算期に関する定時株主総会終結の日まで株主名簿の記載の変更を停止する。

2 前項に定めるもののほか必要あるときは、あらかじめ公告して、臨時に株主名簿の記載の変更を停止し、又は基準日を定めることができる。

### 第3章 株主総会

(株主総会の招集)

第12条 当社の定時株主総会は、決算期から3箇月以内に招集し、臨時株主総会はその必要がある場合に随時招集する。

(招集者及び議長)

第13条 株主総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議に基づき取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故ある時は、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

(招集地)

第14条 株主総会は、本店所在地又は鳥取県、岡山県若しくは兵庫県地内において開催する。

(決議方法)

第15条 株主総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、出席した株主の議決権の過半数をもってこれを決する。

(議決権の代理行使)

第16条 株主が代理人により議決権を行使しようとするときは、その代理人は代理権を証する書面を当会社に提出しなければならない。

(議事録)

第17条 株主総会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、議長並びに出席した取締役が記名押印し、会社に保存する。

### 第4章 取締役、監査役及び取締役会

(役員)

第18条 当社の取締役は20名以内、監査役は3名以内とする。

2 取締役及び監査役が任期中に退任しても、その法定員数を欠かないときは、補欠選任を行わないことができる。

(役員を選任)

第19条 取締役及び監査役は、株主総会において選任する。

2 取締役及び監査役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席しその議決権の過半数で行う。

3 取締役の選任については、累積投票によらないものとする。

(任期)

第20条 取締役の任期は、就任後2年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとし、監査役の任期は、就任後4年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。

2 補欠又は増員によって就任した取締役の任期は、他の取締役の残任期間とする。

3 補欠によって就任した監査役の任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第21条 取締役会の決議により、顧問を置くことができる。

(代表取締役及び役付取締役)

第22条 当会社に取締役会長1名、取締役副会長2名、取締役社長1名、必要に応じて専務取締役及び常務取締役若干名を取締役会の決議により選任することができる。

2 当会社の業務は取締役社長が統括し、取締役副社長、専務取締役及び常務取締役は取締役社長を補佐し、定められた事務を分掌する。

取締役社長に事故あるときは、取締役会の決議をもってあらかじめ定めた順序により他の取締役が取締役社長の職務を代行する。

3 当会社を代表すべき取締役は、取締役会の決議により選任する。数人を選出した場合においては、各自当会社を代表する。

(取締役)

第23条 取締役は、取締役会を組織し、会社の業務執行を決定する。

2 取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故あるときは、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

3 取締役会の招集通知は、会日より3日前までに発するものとする。ただし緊急の必要がある場合には、その期間を短縮することができる。

(取締役会の決議方法等)

第24条 取締役会の決議は、取締役の過半数が出席し、その過半数をもって決する。

2 取締役会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、出席した取締役及び監査役が記名押印し、会社に保管する。

(役員報酬)

第25条 取締役及び監査役の報酬総額は、株主総会において各別に決定し、その配分は取締役の報酬については取締役会において決定し、監査役の報酬については監査役の協議によって決定する。

## 第5章 計 算

(営業年度及び決算期)

第26条 当会社の営業年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとし、毎営業年度末日を決算期とする。

(利益配当金)

第27条 利益配当金は、毎営業年度末日の株主名簿記載の株主又は登録質権者にこれを支払う。

2 利益配当金は、その支払提供の日から3年を経過しても受領されないときは、当会社は支払の義務を免れるものとする。

○役員名簿

(平成27年6月3日現在)

取締役会長	ひらい しんじ 平井 伸治	取締役	はぎわら せいじ 萩原 誠治
取締役副会長	よしもと ともゆき 吉本 知之		あんざこ のりあき 庵迄 典章
	こはた ひろし 木幡 浩		とみやま ゆたか 遠山 寛
代表取締役社長	おかむら しゅんきく 岡村 俊作		おだ みつのり 小田 光則
代表取締役常務	たまい かずのり 玉井 和則		あだち ひでお 足立 日出男
取締役	ふかざわ よしひこ 深澤 義彦	ながお まこと 長尾 真	
	よしだ ひでと 吉田 英人	まつもと しゅんいち 松本 俊一	
	てらたにせいいちろう 寺谷 誠一郎	監査役	いしだ こうたろう 石田 耕太郎
	あおき ひでき 青木 秀樹		わだ ちようへい 和田 長平

ただし、松本俊一氏は6月22日の就任とする

○第29期（平成26年度）事業報告

I. 営業の概況

1. 営業の概要及び成果

輸送の安全確保を最重要課題として全社員が一丸となって取組み、無事故で終了いたしました。

特急列車の利用状況は、JRや旅行代理店と連携した商品の販売や、各種イベント、キャラバンの実施、また、開業20周年記念を全面に打ちだした活動や、「恋駅プロジェクト」をマスコミを通じて全国発信するなどして積極的なPR活動を行いました。依然として減少傾向に歯止めがかからず、結果としてほぼ前年並みとなりました。

列車別では、「スーパーはくと」が前期比0.2%減の600,821人、「スーパーいなば」は前期比2.8%増の248,141人となり、特急列車全体では前期比0.7%増の848,962人となりました。

また、普通列車は、沿線内で20周年関連イベントを行った効果等で前期比2.9%増の217,800人となりました。

収入については、全体として利用者は増えたものの客単価の低下により旅客運輸収入は前期比0.9%の減となり、運輸雑収入も車両使用料の減により前期比2.3%の減となり、収入合計では前期比1.6%の減となりました。

費用については、車両の全般検査両数が減少したことに伴う修繕費の減に加え、減価償却費が減少したこともあり、費用合計では前期比4.5%の減となりました。

この結果、当期の収支状況は、営業収益が前期比46百万円（1.6%）減の2,754百万円、営業費用が前期比111百万円（4.4%）減の2,406百万円となり、当期の営業利益については前期比65百万円（22.8%）増の348百万円、経常利益については前期比68百万円（23.5%）増の356百万円となりました。

(1) 列車利用状況（利用状況は車掌調べによる人数） (単位：人、%)

区分	当期	前期	増減数	前期比	主な要因
スーパ-はくと	600,821	601,816	-995	99.8	鳥取自動車道の影響 景気の回復など
スーパ-いなば	248,141	241,417	6,724	102.8	
特急列車計	848,962	843,233	5,729	100.7	
普通列車	217,800	211,739	6,061	102.9	20周年事業

(2) 収支状況

① 主な収入 (単位：千円、%)

区分	当期	前期	増減額	前期比	主な要因
旅客運輸収入	1,300,831	1,312,696	-11,865	99.1	客単価の減
運輸雑収入	1,453,035	1,487,079	-34,044	97.7	車両使用料の減
営業収益計	2,753,866	2,799,775	-45,909	98.4	

② 主な費用 (単位：千円、%)

区分	当期	前期	増減額	前期比	主な要因
修繕費	733,721	797,751	-64,030	92.0	検査車両数の減
動力費	407,218	401,443	5,775	101.4	
減価償却費	288,287	326,118	-37,831	88.4	
営業費用計	2,406,046	2,516,576	-110,530	95.6	

### (3) ダイヤ改正の実施

平成27年春のダイヤ改正を3月14日に実施し、JR線との列車の接続の調整により列車ダイヤの微調整などの見直しをいたしました。

### (4) 安全対策の実施状況

安全対策については、経営トップと現場が一体となって安全を最優先とする職場風土の構築に向けて安全を更に確かなものとするため、関係法令等の勉強会実施などによる法令等の理解と遵守を深めました。

また、トンネル内火災や事故などを想定した異常時対応訓練の実施や、安全推進委員会を毎月開催し、鉄道事故防止に関する事項について徹底した議論を行いました。そして、安全に係わる内部監査も実施し、PDCAサイクルを管理、徹底するなど、引き続き安全管理体制の構築に取り組んでまいりました。

### (5) 企画きっぷの発売状況

「東京往復割引きっぷ」、「京阪神往復割引きっぷ」、「広島往復割引きっぷ」、「岡山往復割引きっぷ」の発売状況は京阪神、東京方面は前年比97.6%の減となりましたが、岡山、広島方面は105.6%と増えました。

また、京阪神、岡山、広島方面からの誘客を図るため「かにカニ日帰りエクスプレス」をご利用のお客様に、引き続き日本海の干物セットをプレゼントする企画を実施し、また「20周年1日フリーきっぷ」での自由席特急列車利用や、「定期券用自由席回数特急券」を発売するなど、利用者の増加を図りました。

普通列車については、「20周年1日フリーきっぷ」、シニア向けの「楽ラクきっぷ」、恋山形駅と平福駅とを結ぶ記念切符「恋福きっぷ」の発売や観光バスと連携した「ちょい乗り」に取り組みました。駅窓口等での口コミPRに取り組むとともに、沿線市町村や智頭線利用促進協議会と連携して引き続き普通列車の利用者拡大に努めてまいりました。

#### [主な企画きっぷの発売実績]

東京往復割引きっぷ	5,096枚 (91.9%)
京阪神往復割引きっぷ	48,084枚 (98.3%)
広島往復割引きっぷ	19,230枚 (101.1%)
岡山往復割引きっぷ	18,812枚 (110.5%)
かにカニ日帰りエクスプレス	8,278枚 (92.7%)
ノリノリきっぷ (4/11~7/14) 昨年他に9~12月	15,688枚 (50.3%)
姫路観光きっぷ (4/1~12/13) 昨年9~12月	627枚 (176.6%)
鳥取観光きっぷ (10/1~12/13) 昨年8~11月	251枚 (53.1%)
元日JR西日本・乗り放題きっぷ	5,867枚 (93.1%)
楽ラクきっぷ (智頭線内70歳以上、1組33枚綴り2,500円)	152枚 (345.5%)
新開業20周年記念一日フリーきっぷ (普通列車) 土日祝追加	7,138枚 (122.4%)
新定期券用自由席特急回数券 (智頭線内5/1~、1組5枚綴り1,000円)	316枚
新智頭線開業20周年スーパーはくとで行く開湯850年三朝温泉	947枚
新スーパーはくとで行く女子旅三朝温泉	695枚
新山陰めぐりパス50/山陰めぐりパス	6,277枚
新USJスペシャルきっぷ	1,588枚
新JR-WEST RAIL PASS 山陰・山陽エリアパス (訪日外国人向け) 3月から	587枚
新おとなびパス	7,532枚

## (6) 利用促進に向けた広告宣伝等の実施状況

特急列車の利用促進については、開業20周年記念の広報宣伝やJRや自治体等と連携した京阪神でのキャラバン、姫路駅でのイベントを実施し、多くのお客様に「かに」や「温泉」、「スーパーはくと」の魅力をPRしました。

また、三朝温泉開湯850年と連携した旅行代理店の商品の造成など、京阪神や鳥取等での誘客や送客活動に取り組んでまいりました。

普通列車についても、開業20周年を記念した様々なイベント列車や沿線自治体と連携した臨時貸切り列車の運行、更には利用促進や地域の活性化に資するよう沿線自治体主催のイベントに積極的に参加し、一層のPR活動を行いました。

全国的に知られるようになった恋山形駅については、自治体や関係会社と連携した「バレンタイン列車」や様々なイベント列車の運行など「恋駅プロジェクト」に取り組んだ結果、全国のマスコミを含め、年間200回以上もマスコミに取り上げていただきました。

また、四季折々の「風鈴列車」、「七夕列車」、「クリスマス列車」、「おもちゃ列車」の運行で、地域の皆さんに智頭線を知って乗ってもらう取り組みを進めました。

## 2. 会社に対処すべき課題

- (1) 鉄道事故防止の強化
- (2) 鉄道施設や車両の経年老朽化対策
- (3) 知識、技術・技能の向上と継承
- (4) お客様のニーズを捉えた利用客数の確保と各種記念きっぷの充実
- (5) 沿線市町村等との連携による普通列車の利用促進と域外からの誘客
- (6) 普通列車の運行のあり方
- (7) 自治体や関係機関との連携による観光客誘致と特急列車の利用促進

## 3. 修繕及び資金調達の状況

主な修繕とその金額は次のとおりであり、全て自己資金等で対応いたしました

・鉄道車両の検査費用及び修繕費	560,804千円
・志戸坂トンネル調整路盤コンクリート補修	95,960千円
・毛谷高架橋修繕	17,315千円
・第2千種川橋りょう修繕	13,505千円

## 4. 設備投資及び資金調達の状況

主な設備投資とその金額は次のとおりであり、全て自己資金で対応いたしました

・液体変速機（特急車両用12台）	62,130千円
・車両用エンジン（特急車両用12台）	56,640千円
・自動列車停止装置更新（久崎駅）	40,566千円
・デジタル無線機（特急車両用3台）	13,665千円
・PLC盤取替（特急車両用6台）	11,404千円

## 5. 営業成績及び財産状況の推移

区分	第26期	第27期	第28期	第29期(今期)
営業収益(千円)	2,753,637	2,755,461	2,799,775	2,753,866
当期利益(千円)	158,190	114,619	206,372	254,626
1株当たり当期利益(円)	17,576.64	12,735.41	22,930.24	28,291.74
資産合計(千円)	5,365,013	5,118,815	5,284,582	5,574,511



## Ⅱ. 会社の概況（平成27年3月31日現在）

### 1. 主な事業内容

鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに附帯又は関連する事業

### 2. 主な事業所

本社 鳥取県八頭郡智頭町智頭  
運輸部 鳥取県八頭郡智頭町智頭  
大原事業所 岡山県美作市古町

### 3. 株式の状況

期末の株式の状況は、次のとおりであります。

- ① 会社が発行する株式の総数 20,000株
- ② 発行済株式の総数（額面普通株式） 9,000株
- ③ 1株の金額 50,000円
- ④ 株主総数 45名
- ⑤ 株主

別掲のとおり。なお、当社の大株主への出資はありません。

### 4. 社員の状況

	社員数 (人)	前期末比増減 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年月)
総務部	6	0	45.3	16年11ヶ月
運輸部	65	-1	40.4	14年0ヶ月
合計	71	-1	40.8	13年8ヶ月

※常勤役員（2人）、契約社員（5人）を除く

○貸借対照表

[平成27年3月31日現在]

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部	5,574,511	負債の部	801,272
流動資産	3,636,108	流動負債	448,615
固定資産	1,931,521	固定負債	352,657
有形固定資産	1,864,021	純資産の部	4,773,239
無形固定資産	12,434	資本金	450,000
投資等	55,067	利益剰余金	4,323,239
繰延資産	6,882		
資産合計	5,574,511	負債・純資産合計	5,574,511

○損益計算書

[平成26年4月1日から平成27年3月31日まで]

(単位：千円)

科目		金額
経常 損益 の 部	鉄道事業営業利益	
	営業損益の部	
	営業収益	2,753,866
	営業費	2,406,046
	鉄道事業営業利益	347,820
	営業外損益の部	
	営業外収益	15,819
	営業外費用	7,443
	経常利益	356,196
特別 損益 の 部	特別利益	
	固定資産売却益	6,386
	その他の特別利益	25,770
	特別損失	
	固定資産除去損	3,031
	臨時損失	0
	税引前当期利益	385,321
	法人税等	130,695
	当期純利益	254,626

○株主資本等変動計算書

[平成26年4月1日から平成27年3月31日まで]

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金				株主資本 合計	
		利益準備金	別途積立金	固定資産圧縮 積立金	繰越 利益剰余金		
前期末残高	450,000	2,700	2,200,000	1,650,000	215,913	4,518,613	4,518,613
当期変動額							
剰余金の配当							
剰余金の配当に伴う 利益剰余金の積立							
積立金の積立			80,000	130,000	-210,000		
当期純利益					254,626	254,626	254,626
当期変動額合計			80,000	130,000	44,626	254,626	254,626
当期末残高	450,000	2,700	2,280,000	1,780,000	260,539	4,773,239	4,773,239